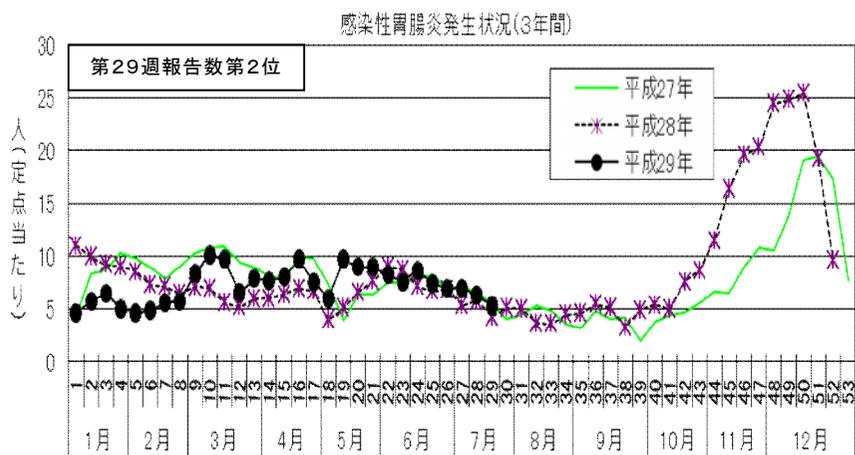
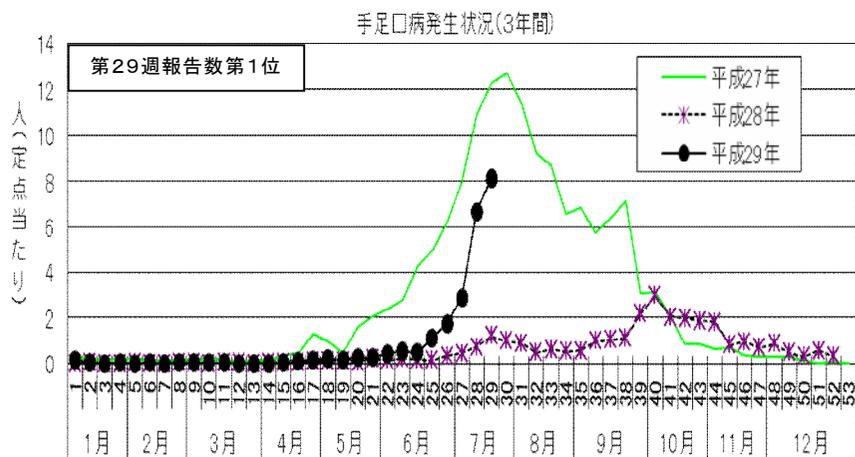


# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

平成29年7月17日（月）～平成29年7月23日（日）〔平成29年第29週〕の感染症発生状況

第29週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。  
 手足口病の定点当たり患者報告数は8.14人と前週（6.67人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.33人と前週（6.31人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。  
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は3.78人と前週（3.86人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



## 知っていますか？～重症熱性血小板減少症候群（SFTS）～

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は、2011年に中国で報告されたダニ媒介性の新しい感染症です。国内では、2013年1月に初めて患者が確認されて以降、毎年60名前後の届出があります。特に西日本を中心に発生がみられています。

### 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とは？

#### 【病原体】

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス  
 （フニヤウイルス科フレボウイルス属）

#### 【感染経路】

主にSFTSウイルスを保有するマダニ（ウイルス保有率0～数%）に咬まれることで感染  
 ※SFTSウイルスに感染している動物の血液等の体液に直接接触した場合、SFTSウイルスに感染することも否定できません。

#### 【潜伏期間】

6～14日間

#### 【症状】

（国立感染症研究所昆虫医科学部HPから引用）  
 ・主な初期症状は発熱、全身倦怠感、消化器症状等  
 ・重症化し、死亡することもある。  
 （致死率10～30%）

**マダニに咬まれたら、無理に引き抜かず  
 医療機関を受診しましょう！**



### 全国におけるSFTS症例の届出地域

（2017年6月28日現在）



（国立感染症研究所HPから引用）

- ◆マダニが生息する場所に入る場合は、長袖・長ズボンの着用、首にタオルを巻く等肌の露出を少なくする。
- ◆補助的な効果として、ディート等の有効成分を含む忌避剤を使用する。
- ◆野外では、特に病気の動物には、むやみに素手で触らないようにする。